

SDG s おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDG s の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDG s の推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2024年12月6日

事業者情報		
事業者名	株式会社東京流通センター	
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長
	氏名	有森 鉄治
ホームページ URL (任意)	<a href="https://www.trc-inc.co.jp/">https://www.trc-inc.co.jp/</a>	
事業者ロゴ (任意)	<p>『人×街×物流』 新たな価値 創造の場</p>  <p>TRC Tokyo Ryutsu Center</p>	
事業者としての 2030 年のあるべき姿		
<p>株式会社東京流通センターは、企業理念のもと環境問題を経営の重要課題と位置付け、環境配慮と環境負荷低減の取り組みを実施することにより、環境保全に努め、持続可能な社会の実現に向けて、社会的責任を果たし、企業価値をより高める取り組みを推進してまいります。</p> <p>また、環境方針に基づいた取り組みを継続しながら、サステナビリティ推進体制を整え、「2030年に向けてのSDG s 目標」を策定し、全社的な取り組みとして、サステナビリティ委員会の定期開催により進捗を確認しながら、目標達成に向け、鋭意活動しております。</p>		
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDG s 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>		
 <p>1 貧困をなくそう</p>	 <p>2 飢餓をゼロに</p>	 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p>	 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>

					
○	○	○		○	○
					
○				○	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
7,12,13,17	<p>「環境負荷低減」に関する目標を掲げ、以下を達成している。</p> <p>東京都環境確保条例に基づく特定地球温暖化対策事業所として、各種省エネ機器導入、運用方法の改善、物流ビル A 棟・B 棟の建替え(省エネ性能向上)など、削減対策を行っている。</p> <p>また、「RE100」に準拠し、2023 年度、共用部などの電力使用量は再生可能エネルギー電力の超脱を 100%達成している。</p>	<p>テナント・協力会社と協同し、CO2 排出量削減対策に鋭意取り組んでいく。また、共用部などの電力使用量については、再生可能エネルギー電力調達 100%を維持できるよう、取り組みを続ける。</p>
11,17	<p>「レジリエンス」の目標を掲げ、防災関連として、以下の内容を達成している。</p> <p>当社は災害時、帰宅困難者を受け入れる「一時滞在施設」となる上、自衛消防活動の一環として「普通救命講習会」を毎年開催し、消防庁が推奨する応急手当奨励制度において、「救命講習受講優良証」が交付されている。また、災害時、支援物資を円滑に区内各避難所等へ輸送できるよう、物資輸送体制を構築するため、大田区及び当社テナントの青果物流通企業・株式会社まつのと「大田区、株式会社東京流通センター及び株式会社まつのと」の災害時における物資</p>	<p>現状、全社員の 9 割以上が取得している普通救命講習資格について、保有率 100%を目指し、テナントへの取得率の向上の啓発活動を行う。また、今後も社内外と連携した防災訓練などを定期的実施し、社員のみならず館内利用者も含め、災害に対する備えや心構えを得ながら、テナントを含めた災害対応力の強化を推進する。</p>

	<p>の受入れ及び輸送等並びに物資の受入れ拠点の設置等に関する協定」を三者間で締結している。</p>	
7,13,17	<p>テナントへの啓発活動やルール設定により廃棄物量/m<sup>2</sup>を削減している。廃棄物の再利用率は 2023 年度に施設全体で 74.5%となり、2022 年度実績(40.1%)から大幅に向上した。</p>	<p>建物内に「紙ごみ回収 BOX」を設置し、分別の働きかけを行っているほか、テナント入居者が分かりやすく廃棄物を分別できるよう図解入りの「廃棄物処理ハンドブック」を作成し、配布するなどの施策を行っている。今後も様々な取り組みを通して、テナントと連携して更なる廃棄物量削減、再利用率向上に努める。</p>
8,9,17	<p>「物流業界全体の課題解決」を目指し、「TRC LODGE」というビジネスマッチングの場を提供している。6、7、8、10月に物流課題解決セミナーを開催しテナントや周辺地権者など延べ 40 社 79 名が来場し、来場者と登壇者のマッチングも 1 件成立した。</p>	<p>引き続き、パネル・動画の常設展示や内覧会を通じて労働の効率化・省人化をはじめ、SDGs・BCP などの多岐に渡るソリューションを通じて、ハードとソフトの両面から物流業務の効率化・高度化を支援する。</p>